

実施日程	実施校名	地元主催者
2023年9月6日(水)	長岡市立日吉小学校	新潟県教育委員会
2023年9月8日(金)	見附市立田井小学校	新潟県教育委員会
2023年11月28日(火)	加須市立加須南小学校	埼玉県教育委員会
2023年11月30日(金)	足利市立第一中学校	栃木県教育委員会
2023年12月19日(水)	町田市立金井小学校	東京都教育委員会

し
知っていますか?~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

一般社団法人こども映画教室®とは…

2004年に始まった「こども映画教室®」のミッションは「こどもと映画のアカルイミライ」。
多様な活動を通して、映画という自由で身近な芸術をより多くのこどもに届けます。

こども映画教室のポリシーは2つ。

- 大人は手出し口出しないこと。
- 一流の映画人と出会うこと。

大人がこどもを信じ自主性を尊重することでこどもには自尊感情が生まれ、真剣な大人との出会いはこどもを勇気づけ自己肯定感をもたらします。「映画教育は人間教育」という言葉を胸に、生きづらさを抱えた子や、居場所をもちにくい子にも映画を届けたいと活動しています。

これまでに、是枝裕和、諏訪敦彦といった一流の映画監督たちがこの活動に共感し特別講師を引き受けています。

一般社団法人 こども映画教室

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町4-13 南平台ハイツ2F
phone & fax : 050-3188-1549

✉ info.kodomoeiga@gmail.com

WWW http://www.kodomoeiga.com

FB https://www.facebook.com/kodomoeiga/



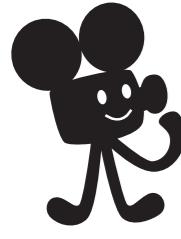
「学校巡回公演事業とは」

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)独立行政法人日本芸術文化振興会



えいが かんしょう さつえい じつえん 映画鑑賞+撮影実演ワークショップ めいさく はい 「映画のなかに入ろう!」

えいが しゅつえん さつえい へんしゅう じつえん えいが かんしょ ～こどもたちが映画に出演!撮影や編集の実演と映画鑑賞～

プログラム紹介

※プログラムは施設ごとの状況により変更となる場合ございます。

① 映画ってどうやって映すの?!

＝上映の仕事を“知る”

映画『キートンの探偵学入門』を観る前に、この映画の主人公キートンの職業である、「映写技師」や「映写機」について説明した簡単な映像をみます。

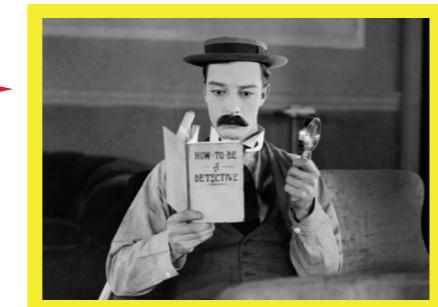
② 映画を“観る”

みんなで『キートンの探偵学入門』を観ます。映画館で映写技師として働きつつ探偵を目指すキートンが仕事中に居眠りした拍子に上映中の映画のなかへと入り込んでしまうという斬新なストーリー。チャップリンと並び称される喜劇王キートンが現実の世界と映画の世界を自由に行き来しながら、超絶アクロバティックな身体能力で息をもつかせぬアクションシーンを繰り広げ、大人も子どももスクリーンに釘付けになります。映画のなかに入りたいという誰もが持つ願望をそのまま映像化したトリック撮影は、映画ならではの楽しさを味わえる作品。

『キートンの探偵学入門』(1924年／45分／アメリカ映画)
監督・主演:バスター・キートン

おはなし

映画館で映写技師として働くキートンは、探偵にあこがれている。あるとき恋仇きの策略によって恋人の前で泥棒呼ばわりされて意気消沈。上映中にうたた寝して映画の中へ入って行った彼は、そこで名探偵シャーロックJr.となって悪漢相手に大活躍を繰り広げる……。



③ 映画(フィルム)を“触る”

鑑賞した『キートンの探偵学入門』でキートンが映写していたのは、35ミリフィルムです。今ではデジタル映像がほとんどとなりましたが、もともと映画はフィルムで上映していました。フィルムを光にかざして映像を観てみましょう!



④ 映画のなかに“入ってみよう!”

『キートンの探偵学入門』の中で、キートンは映画のスクリーンの中に入っていました。いったいどうやって入ったのでしょうか?? みなさんが出演して、プロの映画スタッフが演出、撮影をして、みなさんを映画のなかに入れます! 出演することで映画撮影を実体験してもらいます。撮影された映像をスタッフが編集します。



⑤ 自分たちが映っている映画を“観る”

みなさんが映画のなかに入った作品を大きなスクリーンに映して鑑賞します。見事に映画のなかに入れたでしょうか?!



とくべつこうし
特別講師プロフィール
【映画監督】
諏訪 敦彦 (映画監督)

映画監督、大学教授(東京藝術大学)。1997年に公開された『2/デュオ』で長編映画監督デビューの後、1999年公開の監督作品『M/OTHER』で、第52回カンヌ国際映画祭の国際批評家連盟賞を審査員全員一致で受賞。2005年には、全てフランス人キャスト・スタッフによる『不完全なふたり』(日仏合作)がロカルノ国際映画祭において審査員特別賞と国際芸術映画評論連盟賞を受賞。その後もフランスを活動拠点とし、オムニバス映画『パリ・ジュテーム』(2006年)への監督参加、フランス人俳優との共同監督による『ユキとニナ』(2009年)がカンヌ国際映画祭において高い評価を受ける。2018年、8年ぶりの監督作品『ライオンは今夜死ぬ』(2017年)をフランスで撮影。久しづりに日本で撮影された『風の電話』(2020年)が第70回ベルリン国際映画祭国際審査員特別賞を受賞。一般社団法人こども映画教室の専務理事を務める。

● ワークショップスタッフ

【映画監督】
諏訪 敦彦 (映画監督)
【巡回スケジュール】
諏訪 敦彦、萩生田 宏治、五十嵐 耕平、深田 隆之、瀬田 なつき、早川 千絵、山本 英

【エグゼクティブプロデューサー】
土肥 悅子

【映画制作スタッフ】
大崎 章、奥定 正掌、大川 景子、飯岡 幸子、西原 孝至、太田 達成、宇和川 輝

【チーフテクニカルマネージャー】
酒井 貴史

【テクニカルマネージャー】
相馬 肇佑

【プロデューサー】
浅見 孟